



枝川小だより

やればできる
自分で考え、行動し、
決める場面を多く設定しよう

新米を収穫しました（5～6年 稲刈り、脱穀体験）

9月16日（火）の3校時に、5・6年生が稲刈りを行いました。はじめに校務員の寺門さんから稲刈りの方法と注意点を教えていただきました。子どもたちは、これまでの体験等を思い出しながら、手際よく作業を進めました。

稲刈りは順調に進み、約20分で「おだかけ」（刈り取った稲を干す作業）まで終わりました。作業後は、秋晴れの下に並ぶ稲が風に揺れ、豊かな実りを感じました。

そして、稲刈りから2週間後の9月30日（火）、天日干しを終えた稲の脱穀体験を行いました。毎年お世話になっている横山様のお宅に伺い、専用の機械を使って粃（もみ）を取り出す作業を体験しました。機械を通しても残ってしまう粃がないよう、子どもたちは一つひとつ丁寧に確認しながら、脱穀の作業に真剣に取り組みました。

今年収穫できた粃は7.5 kgで、去年の1.5倍の収穫量がありました。

これから、粃すりや精米を経て、自分たちで育てたお米を味わえる日を、今からとても楽しみにしています。



よりよい授業のために、力をお借りしています

図画工作科では、毎年度、社会人サポーターの関 徹先生をお招きして、絵画指導を行っています。先生には絵画講師としての専門性を生かし、構図の取り方や色の作り方、塗り方などについて、児童一人ひとりに丁寧に指導いただいています。今年度は9月29日（月）、10月6日（月）、20日（月）の3日間にわたり、県展や市展に向けた作品づくりのサポートをお願いしています。

理科では、年間30時間の予定で、今年度もわくわくサイエンスサポーターの酒井 和子先生にご来校いただき、専門的な視点を生かして、分かりやすく興味深い授業を行っています。併せて、実験の準備や資料の提供等を通して、理科を担当する教職員に対しても授業づくりのサポートをお願いしています。



全国学力・学習状況調査、前期『いちよう』について

4月17日（木）に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が、7月末に文部科学省から公表されました。本校6年生の平均正答率と全国平均正答率との差は、国語・算数・理科ともに「下回っている」状況です。分析の結果、複数の情報を整理し、自分の言葉で説明することや、自分の考えを言語化することに課題が見られました。今後の学習指導で補充と深化を図ってまいります。

なお、本県の結果概要及び分析については、下記をご覧ください。

<https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/gakko/compulsory-education/gakuryoku/learning-research/>

前期の通信票『いちよう』を10月10日（金）にお子様にお渡しします。保護者の皆様に、以前「学習指導要領における学習評価」のリーフレットを配付しておりますが、その内容をあらためてご確認願います。お手元にない場合は、本市教育委員会のウェブページに掲載されていますので、ご覧ください。

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/kosodate/kyouiku/1002249/1002232.html>